

研究課題名	レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査
研究の意義・目的	救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2026 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2016 年 4 月～2020 年 3 月に大阪市立大学医学部附属病院の脳神経外科・神経内科を受診もしくは入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ID 番号、生年月日、性別、発症年月日、入院年月日、退院年月日、退院先 自宅郵便番号、診療報酬算定情報（DPC） 入院経路：救急車による搬送、他院よりの紹介 入院前および入院後生活自立度(modified Rankin Scale score, mRS)、入院中死亡の有無 初期重症度（JCS、GCS、NIHSS、Hunt & Hess grade、ICH grade、Hunt & Kosnik grade） 検査データ（腎機能、LDL-Chol、PT-INR） 搬送から画像撮影までの時間 搬送から組織プラスミノゲン活性化因子（rtPA、血栓溶解療法）投与までの時間 搬送から血管内治療のための穿刺までの時間 血栓回収を行った場合の再開通度（TICI grade） rt-PA 静注療法または血管内再開通療法を施行した患者での 36 時間以内の症候性頭蓋内出血（NIHSS4 点以上悪化）の有無 退院 90 日後 modified Rankin Scale(mRS) 画像診断、検査の有無〔MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査、撮影・検査未実施〕 リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科関連の診療にかかわる治療内容
試料・情報の他機関への提供	国立循環器病センターに頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	飯原弘二 国立循環器病研究センター 病院長 有村公一、西村中、下川能史、連乃駿 九州大学 脳神経外科 吉村紳一 兵庫医科大学脳神経外科 塩川芳昭 杏林大学脳神経外科 嘉田晃子 名古屋医療センター臨床研究センター統計解析室 小笠原邦昭 岩手医科大学脳神経外科 東尚弘 国立がん研究センターがん対策情報部 坂井信幸 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科 星野晴彦 東京都済生会中央病院神経内科 長谷川泰弘 聖マリアンナ医科大学神経内科 橋本洋一郎 熊本市市民病院神経内科 小川彰 岩手医科大学脳神経外科 鈴木倫保 山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学 辻野彰 長崎大学病院脳神経内科 北園孝成 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 黒木亮太 福岡徳洲会病院 脳神経外科

	黒木愛 福岡市立こども病院 脳神経外科 賀来泰之 熊本大学病院 脳神経外科 丸山大輔 京都府立医科大学 脳神経外科 松重俊憲 広島市立安佐市民病院 脳神経外科 佐野徳隆 福井赤十字病院 脳神経外科 高田茂樹 Department of Fundamental Neurobiology, Krembil Research Institute, University Health Network, Canada 板谷智也 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 平和也 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻予防看護分野 田中晴佳 名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 研究責任者 後藤剛夫 代表研究機関：国立循環器病センター 病院長 飯原弘二
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 一ノ瀬努 電話番号：06-6645-3846（脳神経外科医局） メールアドレス：ichinose-t@med.osaka-cu.ac.jp